

本年度分として2,000万円を動労千葉へカンパ

日刊 動労千葉

81.8.13
No.820

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五〜六(公衆)四三三(三)七二〇七

%「動労千葉支援基金」世話人会で確認

「動労千葉支援基金」世話人会が、八月十日、東京・国際観光ホテルで開催され、動労千葉へ本年度二千万円のカンパを行うことが決定された。三月ジェット決戦闘争に対する四名の解雇をはじめとする動労千葉への集中弾圧による財政負担を軽減し、さらに闘い抜かんとする動労千葉の闘いを全労働者・人民の中へ拡大、発展させてゆくために、動労ジェット闘争支援共闘会議を中心とする全国の闘う仲間達は、短期間に二千三百万円を突破するカンパを集め切り、今回の確認に至ったものである。われわれは、全国の闘う労働者・人民のこの支援に、真に階級的に闘い抜くことを通して応えていかなければならない。

高島喜久男・岩井章氏等参加

世話人会は、高島喜久男・北原敏治・浅田光輝・岩井章・加辺永吉・横山好夫・増山太助・中江昌夫の各世話人と動労千葉から関川委員長・中野書記長・水野財政部長が出席し、十四時三十分開会され、高島代表幹事を座長に会議が進められた。まず、各世話人から自己紹介も兼ねたあいさつが行われ、その後、関川委員長からこの間の取り組みに対するお礼と動労千葉の決意を含めたあいさつが行われた。

そして、中野書記長から三月ジェット決戦闘争以降の、四名解雇攻撃・銚子支部結成・組織実情II新加入状況・「六・一二津田沼事件」デッチ上げ告訴―六名の不当逮捕―三名への起訴攻撃に至る経過報告を受け、各世話人からの質問・意見という進行で、なごやかで卒直な討論が行われた。

◇「日刊動労千葉」をはじめとする情宣のあり方、◇動労千葉の闘いの長期的な展望と「基金」のあり方および取り組みの方向性等について意見・質問が出され、短期間に二千三百万を超える基金が集ったことは、三里塚と動労千葉の闘いが、現下の階級情勢全体の中に占める重要性、労働者・人民の期待の大きさを示しており、この動労千葉の闘いをさらに前進させてゆくために、動労千葉第六回定期大会を前に「本年度分として二千万円のカンパで動労千葉へカンパする」ことが確認されたのである。

動労千葉の闘いが切り拓いた地平

われわれは、反合・三里塚ジェット闘争を基軸に、激動の八〇年代を軍事大国化と対決する労働運動をもって切り拓いてゆくことと、この闘いが決して平坦な道をゆくことにならず、多くの苦難をわれわれに強い闘いになるであろうことを確認して、一三〇〇名の総力を結集して闘い抜いてきた。軍事大国化・改憲攻撃が激化するなかにおいて、雪崩れつつ右傾化・産報国会化への道へ歩みつつある日本労働運動を、真に労働者・人民の未来を切り拓く階級的・戦闘的労働運動に引きもどすことなしに、自らの生命も職場も守れないことを、「国鉄三五万人体制攻撃」と「三里塚」の中にしっかりと見据え、動労千葉の路線の正義性に確信をもって闘い抜いてきたのである。

この動労千葉の、はっきりと誇れるひとつの闘いの成果として、われわれは、今日の「支援基金」の取り組みを確認しなければならぬ。

この連帯に込めらるる闘いを

「支援基金ニュース」(八五)でも明らかのように、この支援基金に寄せられたカンパは、金額それ自体も、そしてカンパ活動の展開も、職場で苦闘している労働者・農民・市民が、草の根運動的に獲得したものが大部分であり、「機関できめたから」という運動とは全く異なり、まさに「基金」に寄せられた一円、一円がひとりひとりの労働者・農民・市民・学生のオルグを通して、心をこめて獲得されたものである。

全組合員のみなさん。動労千葉の闘いが、これまで全国の労働者・人民の心を突き動かしたことに確信を持つよう。そして、この全国の労働者・人民の連帯を生かす闘いの構築へ向けて奮闘しよう。

「六・一二津田沼事件」デッチ上げ告訴―三名へ当逮捕―三名への起訴攻撃を粉碎しよう。

「本部」反動分子・土屋一派を解体し、国鉄当局の新マル生攻撃を粉碎しよう。

第六回定期大会の圧倒的武功をかちとろう。



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!